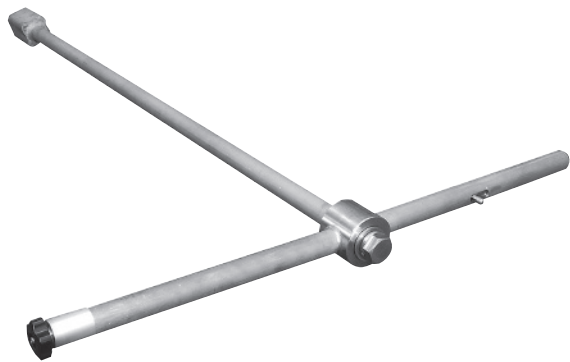


## 新製品「Tトルク」に注目

清水鐵工所が開発したバルブ操作専用トルクレンチ「Tトルク」が注目を集めている。過剰なトルク操作によるバルブの破損を未然に防ぐトルクレンチモードが搭載されたもので、現時点では主に、技能研修用として水道事業



軽いショックとクリック音でトルクを確認できる「Tトルク」

## 過剰なトルク操作を防止 切替は手元ロックピンで

水  
鉄工所



名古屋水道展で初披露

体からの引き合いが強いという。昨年10月に開かれた名古屋水道展で初披露され、開閉作業を体験できるデモンストラーションコーナーも盛況だった。キャップ式バルブに設置して閉操作を行う際、規定トルクに達すると「カチッ」というクリック音が発生し、軽いショックが手元に伝わることでトルクの確認を行える。また、ハンドルに設けられた手元のダイヤルで口径をセツトすると、規定トルクがセツトされる。トルクレンチモードと開栓器モードの切り替えは、手元のロックピンで行う。

トルクレンチモードの対応値は60〜150N・m、開栓器モードは最大操作トルク300N・m。ハンドルと主軸をピン1本で分解し、小スペースに保管できる分割タイプもラインアップする。販売開始は4月を予定している。